

■ハイセイコー記念（SⅡ）アラカルト（過去 51 回の分析）

※第 1 回（昭和 43 年）から第 33 回（平成 12 年）までは「青雲賞」の名称で実施

※第 35 回（平成 14 年）から第 36 回（平成 15 年）までは大井ダ 1590m で実施

※第 22 回（平成元年）は 2 頭が 3 着同着

※記録は令和元年 10 月 16 日時点

■上位人気馬の好走率はますます

単勝 1 番人気馬は 18 勝、2 着 10 回、3 着 7 回で、3 着内率が 68.6%、単勝 2 番人気馬は 9 勝、2 着 12 回、3 着 5 回で、3 着内率が 51.0%、単勝 3 番人気馬は 9 勝、2 着 9 回、3 着 7 回で、3 着内率が 49.0%となっている。上位人気馬がそれなりに信頼できるレースと言えそうだ。

■3 番人気以内の馬が上位を占めた例も多い

過去 51 回のうち 36 回は、単勝 3 番人気以内の馬が勝利を収めている。なお、単勝 3 番人気以内の馬によるワンツーフイニッシュ決着は 20 回、単勝 3 番人気以内の馬によるワンツースリーフィニッシュ決着は 6 回ある。

■牝馬は 5 勝、外国産馬は未勝利

牝馬の優勝例は第 6 回（昭和 48 年）のオロマツホース、第 10 回（昭和 52 年）のリマンドタイコウ、第 23 回（平成 2 年）のフジノリニアー、第 29 回（平成 8 年）のセイントサブリーナ、第 44 回（平成 23 年）のドラゴンシップと、計 5 回ある。なお、外国産馬の優勝例はまだない。

■騎手別の歴代最多勝記録は「8」

騎手別の勝利数を見ると、8 勝の的場文男騎手が単独トップ。4 勝の高橋三郎騎手が単独 2 位、3 勝の赤間清松騎手と宮浦正行騎手が 3 位タイとなっている。

■調教師別の歴代最多勝記録は「4」

調教師別の勝利数を見ると、4勝の矢作和人調教師が単独トップ。3勝の朝倉文四郎調教師が単独2位となっている。

■外寄りの枠番が好成績

枠番別の勝利数を見ると、8枠（11勝）が単独トップ。7枠（10勝）が単独2位、4枠と5枠（各7勝）が3位タイとなっている。また、馬番別の勝利数を見ると、10番（6勝）が単独トップ。2番、4番、6番、7番、11番（各5勝）が2位タイである。なお、未勝利の馬番は14番と16番だけだ。

＜伊吹雅也＞